

BUSINESS REPORT

第48期 ご報告書

2023年7月1日 ▶ 2024年6月30日

株主のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

当連結会計年度(2023年7月1日～2024年6月30日)における当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の撤廃に伴い、経済・社会活動の正常化による人流の回復や個人消費の持ち直しとインバウンド需要の増大等が下支えとなり、外食事業においては需要の高まりが見られました。

一方で、労働人口の減少、原材料価格などの高騰、急激な円安進行による物価高が外食事業のコストを押し上げる要因になっていること、さらには漁獲量の減少傾向が水産事業の回復に水を差す形となっていることなど、不透明な状況が続いております。このような状況の中、当社グループは、「とるうるつくる全部、SANKO」をスローガンに、飲食事業で培った強みを活かして水産の産地に入り、生産者とともに歩む「産地活性化プラットフォーマー」として「価値ある食文化の提案」を行うべく、水産の6次産業化を成長基盤とするために事業構造を大きく転換してまいりました。

水産事業においては、漁業者の生活の安定と向上とお客さま満足の両立を目的として、2023年9月に下田の漁業者から、全量買取りする取り組みを開始いたしました。この取り組みをSANKO船団と称し、自社専用船とともに新鮮な魚介類を、当社直営店舗に多段階流通を経ずに卸す試み(DAY・ゼロ便)を始めており、お客さまから大変なご好評をいただいております。

水産流通カテゴリーに属するグループ会社の状況は、豊洲市場の総合食品株式会社については、グループ傘下に入ったことによるシナジー効果と新たに強化している水産物の海外輸出

の効果もあり売上高が回復傾向にあります。浜松市場の株式会社SANKO海商については、「仲卸からの脱却」を経営方針として掲げ、強みであるマグロ加工と商品開発力を生かし、「マグロ餃子」「マグロメンチ」などの新商品を投入するなど、利益体質への転換を進めております。

飲食事業においては、業績回復が著しい「アカマル屋」が、既存店2019年(コロナ前)同月対比で100%を超え続けるなど、コロナ禍で変化したお客さまニーズにマッチするブランドとして成長を続けております。水産の6次産業化を目指す当社グループのシナジー効果を最大化できる「アカマル屋鮮魚店」では、SANKO船団の漁獲の最大活用により、魚本来の価値をお客さまにダイレクトに伝え、お客さま満足ならびに漁業者の生活の安定と向上の両方を達成するブランドとして育成しております。

また、当社は、2023年12月より東海エリアの商業施設内フードコート等で飲食店9店舗を承継し運営を開始いたしました。マグロ一筋40年の目利きが仕入れ、自社船を含むSANKO船団が漁獲する魚と豊洲の大卸・総合食品の仕入力を最大活用した海鮮をふんだんに活用したメニューを提供しております。

官公庁等を中心とする食堂施設の運営受託事業は、「産地活性化プラットフォーマー」として、農林水産省内の職員食堂である「あふ食堂」を中心に官公庁食堂群を活用し、全国自治体・各種団体と連携し全国産地の郷土料理や食材をテーマにしたイベントの開催に取り組むことで、食堂運営受託の枠を超えた産地活性化への挑戦と食堂利用のお客さま満足を官民一体で両立させる取り組みを推進いたしました。「令和6年能登半島地震」により甚大

な被害を受けた石川県の生産者の方々へ、「いま、私たちにできること」として、当社受託食堂で漁業者の方々を応援する企画の実施など行いました。

当社の経営上の課題は、コロナ禍において戦略的に撤退した飲食店舗の売上高を補完することであり、水産サプライチェーンの構築とともに、これを最大活用した「アカマル屋鮮魚店」等の店舗出店が達成されることで、会社の業績回復に寄与するものであると認識しております。

当連結会計年度末における店舗数は、直営店55店舗(うち運営受託店12店舗)、フランチャイズ店(運営委託店舗含む)は海外(香港)2店舗、国内2店舗で計4店舗となりました。

また、当社は、急激な経済成長を続けるベトナムにおいて、ハイエンド顧客のニーズにマッチする日本食レストランを運営するために、ベトナム法人と合併会社(AKIKOSERVICE AND TRADING JOINT STOCK COMPANY)を2024年5月に設立いたしました。さらに当社は、国外の成長市場に対して我が国が誇る水産資源等を積極的に輸出するために、2023年12月に日本法人との合併会社である株式会社SANKO INTERNATIONALを設立いたしました。財務面では、2023年1月に発行した第5回新株予約権の行使により5億63百万円を調達し、また、2024年4月に発行した第2回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第6回新株予約権の行使により2億2百万円を調達しました。手元流動性を高めるとともに、調達資金を成長戦略へ投資することで確実な成長と業績の向上に努めてまいります。

代表取締役社長

長澤成博

第48期 主な取り組み

Main Initiatives in the 48th Term

1 水産事業の展開



わたしたちは、「とる(獲る)、うる(売る)、つくる(創る)」のすべてをお客さまに提供することができるオンリーワンのビジネスモデルを展開し、漁業者に還元するオリジナルの循環ビジネスモデルを加速させました。

2 官公庁食堂群との連携



農林水産省内の職員食堂である「あふ食堂」を中心に官公庁食堂群と連携し、全国自治体・各種団体と全国産地の郷土料理や食材をテーマにしたイベント開催に取り組むことで食堂運営受託の枠を超えた、産地活性化への挑戦と食堂利用のお客さま満足を官民一体で両立させる取り組みを推進いたしました。

2 アカマル屋ブランドの続伸



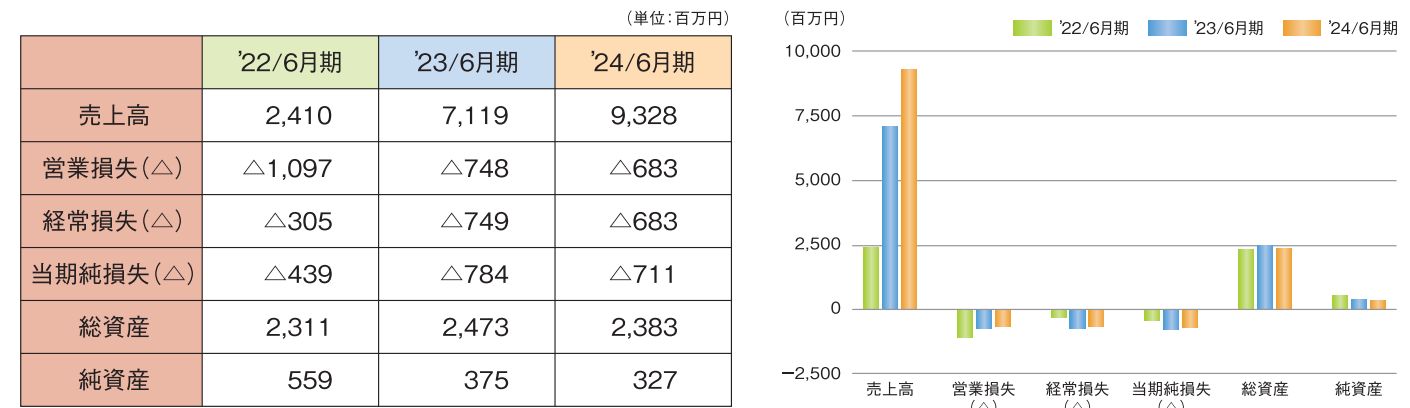
串焼きやおでん、煮込み料理を中心とした大衆酒場でお客様から好評を博している「アカマル屋」、水産の6次産業化を目指す当社グループのシナジー効果を最大化し、価値の高い鮮魚を提供している「アカマル屋鮮魚店」。どちらの大衆酒場も、コロナ禍で変化したお客様ニーズにマッチするブランドとして成長を続けております。

3 東海エリア大型商業施設内フードコート飲食店の承継



2023年12月より東海エリアの大型商業施設内フードコート等で飲食店9店舗を承継し運営を開始し、大型商業施設内の飲食ノウハウを蓄積し今後の積極的な出店を視野に入れてまいります。2024年4月には、承継した店舗のうち1店舗を「まぐろの海商」(海鮮どんぶり)として、イオンモール浜松市野フードコート内にリニューアルオープンいたしました。

財務ハイライトFinancial Highlights



ブランド紹介Brand Introduction

「笑顔と心遣いの大衆酒場」をコンセプトに、「もつ煮込み」「炭火串焼き」「出汁煮込みおでん」を中心とした肴と美味しいお酒が勢ぞろい。地元の皆様に愛される温かいお店です。

東京・高田馬場「まるがまる」は、沼津港から毎日届く旬な鮮魚や珍しい魚を職人が美味しい料理に仕立て、提供する寿司ブランドです。

若年層からご年配、お勤め帰りやご家族のみんななど、幅広いお客様のニーズにお応えするため、味付けやボリュームにこだわりつつ、沼津・浜松の鮮魚も取り入れたメニューをお求めやすい価格で提供し、気軽に何度でもご利用いただける居酒屋です。

市場直送の新鮮な魚を使った海鮮丼や、ボリューム満点の三河一色産鰻などを「より安く!より美味しく!」をモットーにお客様に提供しており、東海エリアを中心に多くのお客様に愛されるお店を運営しております。

沼津港から配送される、産地直送鮮魚、生本まぐろ、活き車えびなど駿河湾沼津港ブランドの魚を中心に、鮮度の高い魚を提供する魚屋さんです。併設の大衆酒場(アカマル屋)ではお酒と一緒に鮮魚料理が楽しめます。

沼津や浜松から漁港直送の魚介類を楽しめるお店です。丁寧な店内仕込みにこだわり、毎日漁港から届く新鮮な鮮魚を「おすすめ商品」として提供いたします。

「肉は焼くとまい。」をコンセプトに、FC出店、ライセンスビジネスに注力。香港2店舗とライセンス出店を国内のみならず海外へも進出中。

農林水産省内の職員食堂である「あふ食堂」を中心に官公庁の各施設において7業態9店舗の運営を受託。全国各地の郷土料理や食材をテーマにしたイベント開催に取り組むことで、食堂運営受託の枠を超えた、産地活性化への挑戦を官民一体で両立させる取組みを推進しております。

手切りでこだわった正直な焼肉屋さん。肉問屋が厳選した肉を直送で取り寄せ、新鮮な状態で提供。「お客様の為に手間を惜しまない」これが万里のこだわりです。

1996年新宿にバスタ専門店として創業。レトロな雰囲気店内でリーズナブルに定番・和風・創作など多彩なバスタをお楽しみいただけます。細麺を茹で上げているので、お待たせせずに直ぐにご提供できるのも強みです。

2024年2月1日OPENの「豊洲千客万来」の豊洲場外江戸前市場内に「魚をより身近に食べていただける店舗」として新業態で出店いたしました。

魚食離れ阻止に挑戦!自分たちで獲った魚や目利きした水産商品、当社料理人監修のサカナ惣菜で飲食と水産事業の強みを最大限活用した鮮魚店です。

新株主優待制度に関するお知らせ

2024年6月末日の当社株主名簿に記載または記録された株主様(翌年9月以降発送予定分)から、株主優待制度の内容を変更拡充いたしました。
詳しくは当社ウェブサイトをご参照ください。

株主優待品決定のお知らせ(2024年6月末基準)

以下、新株主優待制度をご案内いたします。

お食事割引券と拡充された株主優待品について

当社は毎年12月31日および6月30日現在の株主様および実質株主様に対して、株主優待制度を実施しております。
この度の新優待制度においては、以前より株主様に贈呈しておりました当社のグループ店舗※1でお使いいただける「30%割引券」、「東京チカラめしカレー」に加え、新たに「天然南まぐろ 中トロ柵・赤身柵」、「金目鯛煮付け」、「無添加マグロ餃子」、「海鮮せんべい」、「お茶漬けの具」、「海鮮缶詰商品」を、株式の保有期間にかかわらず、株式の保有数に応じて贈呈いたします。

転居などによりご住所が変更となった株主様は、証券会社等にて住所変更のお届けが必要となります。
郵便局への転居届のみですと「株主優待券」及び「株主優待の申込方法に係るご案内」をお届けできない可能性がございます。必ず証券会社等にてお届けをお願いいたします。

※1 株主優待券ご利用可能店舗に記載のない店舗では、ご利用頂けません。

株主優待品の申込方法、申込期日及び発送時期

各基準日の当社株主名簿に記載または記録された株主様に、それぞれ同年9月下旬及び翌年3月下旬に、割引券及び「株主優待の申込方法に係るご案内」を送付させていただきます。
なお、要冷蔵または要冷凍食材がラインナップされておりますことから、6ヶ月の申込期日を設定させていただきます。申込期日を過ぎた場合、ご対応いたしかねますので、早めのお申し込みをお願いいたします。
なお、具体的なお申し込み方法については改めて株主の皆様へご案内をさせていただく予定です。

6月末日の当社株主名簿に記載または記録された株主様

割引券及び「株主優待の申込方法に係るご案内」の発送時期:同年9月
優待品の申込期日:翌年3月末
優待品の発送時期:別途、ご案内をご参照ください。

12月末日の当社株主名簿に記載または記録された株主様

割引券及び「株主優待の申込方法に係るご案内」の発送時期:翌年3月
優待品の申込期日:同年9月末
優待品の発送時期:別途、ご案内をご参照ください。

- ①毎年6月末日および12月末日の当社株主名簿を基準として、該当する株主様を対象に年2回実施いたします。

②保有株式数に応じて、以下の当社指定商品および当社店舗でご利用いただける割引券を発送いたします。

会社概要	社名	株式会社SANKO MARKETING FOODS (英文名:SANKO MARKETING FOODS CO.,LTD.)	
	本社	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場一丁目28番10号	
	本店	〒104-0033 東京都中央区新川一丁目10番14号	
	支店	〒410-0843 静岡県沼津市蓼原町45番地の2	
役員	事業内容	飲食店の経営、水産業	
	創業	1975年9月	設立 1977年4月
	資本金	1千万円	
	代表者	代表取締役社長 長澤成博	
	従業員数	正社員179名(2024年6月30日現在)	
	取引銀行	三井住友銀行、横浜銀行	
株式状況	代表取締役社長	長澤 成博	常勤監査役 滝澤 正樹
	取締役会長	平林 隆広	監査役 三村 藤明
	常務取締役	富川 健太郎	監査役 山下 貴
	取締役	佐伯 崇司 土屋 隆也	注)河野恵美氏、田中研次氏は社外取締役であります。また、滝澤正樹氏、三村藤明氏及び山下貴氏は、社外監査役であります。

株主名	発行可能株式総数	43,072,000株	株主数	24,434名
	発行済株式の総数	27,062,105株	大株主	
株主名	当社への出資状況			
	持株数(株)	持株比率(%)		
平林 隆広	3,506,800	13.0		
株式会社TLF	2,519,700	9.3		
BNP PARIBAS LONDON BRANCH FOR PRIME BROKERAGE CLEARANCE ACC FOR THIRD PARTY	1,819,105	6.7		
有限会社神田コンサルティング	1,581,900	5.8		
平林 実人	1,048,000	3.9		
株式会社SBI証券	764,051	2.8		
アサヒビール株式会社	623,500	2.3		
岩元 重成	270,000	1.0		
J P モルガン証券株式会社	163,094	0.6		
マネックス証券株式会社	153235	0.6		

株主メモ	
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	毎年6月30日(定時株主総会において議決権を行使すべき株主の確定日)なお、その他必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。
公告方法	電子公告。ただし、電子公告を行えない事由が生じたときは日本経済新聞に記載します。
公告掲載URL	https://www.sankofoods.com/
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120(782)031(フリーダイヤル)
上場取引所	東京証券取引所
証券・銘柄コード	2762